

平成23年度

施政方針

平成23年第1回瑞穂町議会定例会で、石塚町長から23年度の施政方針が発表されました。そのあらましをお知らせします。

問合せ

企画課
☎557-7468

日本経済は、円高の進行に加え最近では先物取引の影響もあって、石油をはじめ食料品も高騰しています。大学新卒者の雇用も6割程度と報道されていますが、不況を脱する糸口が見えない状況に、社会全体が不安を感じざるを得ません。

政府は経済の下支えとして、スピード感を重視した政策を進めるとしていますが、国会審議も混乱の状況を呈しています。

しかし、国民生活に充分配慮した上で、「予算」「税制改革」「規制・制度改革」など、日本の将来を見据えた国家体系と実行力を国内外に示すべき時にあります。

このような時勢ではありますが、国民の日々の営みが確保できているのも、身近な市町村に対する信頼が大きく寄与しているものと考えます。

行政として町民の皆さまの生活を守り、将来を的確に捉えた政策を確実に実行します。

平成23年度の予算編成に当たって

は、最小の経費で最大の効果を得られるよう、改めて指示徹底しました。

また、効果的な財源配分を行い、積極的な社会資本投資を行います。

平成23年度

主な新規の取り組み

町独自施策として、おたかく風邪と水痘（水ぼうそう）の予防接種の選択制の助成事業を実施します。また、ヒブワクチン、小児や大人用の肺炎球菌ワクチン、子宮頸がんワクチンについても、一部の個人負担で接種できるような任意予防接種を体系化します。

福祉バスは車両を増車し運行時間の短縮を図るとともに、運行本数を増加させます。また、各コースの乗り継ぎを箱根ヶ崎駅西口として、利用者の



▲新しいデザインが増える福祉バス「すずめ号」

利便性を向上します。

学校校庭の芝生化は、第三小学校を1校目として工事を実施します。芝生の維持管理は地域の方々や協働で行い、児童の健全な育成と地域コミュニティの醸成を図ります。

経済対策として、企業誘致を促進する条例を施行するとともに、融資利子補助制度を拡大します。また、各種緊急経済対策も継続することとします。

長岡地域の方々の待望久しい（仮称）長岡コミュニティセンターが11月にオープンし、平成23年度内には隣接する公園や周辺道路を整備します。この施設を拠点として、地域のコミュニティがさらに活性化すると確信します。



▲長岡コミュニティセンター完成予定図

また、（仮称）長岡コミュニティセンターをはじめ箱根ヶ崎南会館改修工事においても、太陽光発電設備を設置するなど、環境への配慮と町民の意識啓発に努めます。

最近多発している局地的な豪雨に対

地、新たに建設を目指す郷土資料館と狭山丘陵を結びつけ、地域資源として互いに連携させるもので、回遊性を高め観光の振興を図ることを目的とします。

安心安全

やさしいみずほ

震災等大規模災害に備え、町内の住宅や建築物の倒壊防止および補給物資搬送ルート確保を目的として、「瑞穂町耐震改修促進計画」を策定します。青色回転灯パトロール車による夜間パトロールおよび防犯灯設置工事を継続して実施します。

快適で美しいみずほ

「新青梅街道沿道まちづくり基本計画」を策定します。新青梅街道の拡幅整備事業に合わせ、沿道の用途地域の見直しおよび新たな地区計画の必要性について検討を開始します。

また、現在実施している「箱根ヶ崎駅西」および「殿ヶ谷」の土地地区画整理事業を推進するとともに、栗原地区土地地区画整理事業の事業化に向けた準備を引き続き行い、都市基盤整備を進めます。

応するため、シルバー人材センターに道路の巡回調査を委託し、側溝や集水枘の機能を良好に保つとともに、高齢者の働く機会の拡大を図ります。

また、箱根ヶ崎駅西口から新青梅街道を結び、都市計画道路福3・4・12号線の年度内開通を目指します。併せて、バス停車場の変更を調整し、路線拡充を関係事業者に要望します。



▲工事中の箱根ヶ崎駅西口

主な取り組みをご紹介しましたが、続いては第4次長期総合計画の施策体系に沿って、施策内容を申し上げます。

健康で元氣なみずほ

障がいのある人が自立し、安心して就労できる環境を整備するため、「障害者就労支援事業」を実施します。また、駒形富士山共同作業所の増築工事を行います。

「シルバーまちかど」を、高齢者や障

総合計画を

推進するために

町の各種情報を提供するホームページを、英語、中国語、韓国語に対応させ、より多くの方に行政情報を伝達できるものとします。

広域行政では、平成23年10月から西多摩地域4町村による電算システムの共同運営が始まります。コストの削減と、安全性および住民サービスの向上が図られます。また、武蔵村山市との図書館の相互利用を開始します。

行政評価では、本年度、町民等から組織される「行政評価委員会」における事務事業評価を推進します。

また、4月にスタートする「瑞穂町第4次行政改革大綱」に基づき、さらなる町民との協働を図りながら、自立した基礎自治体運営を行います。

全職員が経営意識を持ち、常に効果率的で効果的な行政運営に努めます。以上、平成23年度は積極的な予算編成となりました。

特に、町民誰もが健康で過ごすための施策、地域活力を取り戻すための施策、地域コミュニティの活性化、地域資源の有効利用、教育関連施策に重点的な予算配分を行うこととしました。鋭意、施策実行に当たりますので、町民の皆さまのさらなるご支援をお願いいたします。

がい者、また地域の方が気軽に集まれる地域交流拠点として整備し、地域づくりと福祉の増進を図ります。



▲シルバーまちかど

また、高齢者人口の増加に対応した総合的な施策展開を図るため、第5期の高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画を策定します。

一人ひとりが輝くみずほ

私立幼稚園児保護者負担軽減補助を引き続き実施し、保護者の負担を軽減します。

教育では、確かな学力の定着を図るため、学力調査や漢字検定、英語検定を継続して実施します。また、小学校1年生、2年生、3年生および中学校1年生に学習サポーターを配置して、授業規律の確立と児童・生徒の適切な指導を実施します。

魅力ある温かいみずほ

（仮称）水・緑と観光を繋ぐ回廊計画を策定します。

この計画は、狭山池上流部や平成23年度新たに取得するカタクリの群生



▲カタクリの花



▲スカイホール

第4次瑞穂町長期総合計画（概要その4 最終回）

みらいにずっとほこれるまち

潤いあふれ、活力みなぎる地域社会をめざして

第5章 快適で美しいみずほ

第1節 美しい街並みの住みよいまち

○土地利用

時代の変化に対応した都市計画マスタープランの見直しのもと、狭山丘陵や農地などの自然を保全しつつ、新たな地区計画の導入や用途地域の指定を検討しながら秩序ある市街地を形成し、住居、商業、工業の調和の取れた土地利用を誘導します。

○土地地区画整理

地域の特性を生かした魅力ある都市空間を創造するため、箱根ヶ崎駅西地区と殿ヶ谷地区の土地地区画整理事業を推進するとともに、栗原地区土地地区画整理事業の早期事業化を目指します。新青梅街道の拡幅再整備が都市計画決定されたことから、関連する土地地区画整理事業との一体的な展開を図れるよう、関係機関との連携を強化するとともに、多摩都市モノレール延伸の早期事業化を促進します。

○景観

町の持つ豊かで多様性のある自然的、歴史的景観の保全と、都市景観や新たな地域資源を生かした良好な景観の創出に努め、調和の取れた街並みを形成します。また、町民やボランティアとの協働により、美しい街並みを維持するとともに、町民の景観に対する意識向上を図ります。

第2節 便利で快適に暮らせるまち

○公共交通

公共交通網の充実による町民の利便性の向上と町の潜在的能力がより高く発揮できる環境づくりを進めるため、JR八高線の複線化や輸送力の増強を要請します。また、土地地区画整理事業による市街地整備に合わせた新駅の設置、バス路線および運行本数の拡充を要望していきます。特に、新青梅街道の拡幅再整備の早期完成を東京都に促し、併せて箱根ヶ崎までの多摩都市モノレール延伸について強く要請していきます。

○住宅・公園

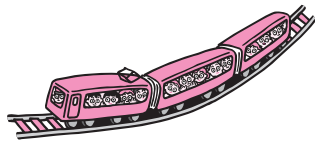
土地地区画整理事業や地区計画の進ちょくにあわせ、町民や事業者との協働を図りながら、良好な住環境の誘導と定住化の促進を図ります。公営住宅については、高齢者や障がい者に配慮した改造、機能向上を考慮し、安心した生活を提供します。遊具などの公園設備の安全性の確保に加え、公園ボランティアによる住民参加型の公園づくりを進め、町民に親しまれ、身近で特色のある公園空間を形成します。また、計画的な緑地の保全に努めます。

○道路

町民の理解と協力により、生活道路の拡幅整備を進めるとともに、防災の面からも拡幅が必要な道路については、公有地化を進めていきます。また、不良箇所の早期発見と迅速かつ的確な対応に努め、安全な道路環境を維持します。国道や都道については、沿道の植栽など快適な環境づくりや、歩行道分離施設の設置を要請し、歩行者の安全を確保します。また、都市計画道路の整備を促進します。

○上下水道・河川

公共下水道の計画的な整備と下水道施設の適切な維持管理を推進するとともに、市街化調整区域内の整備の拡大を図ります。また、道路整備や宅地開発、自然災害による雨水の流出を防ぐため、雨水貯留浸透施設の設置など、適切な対策を講じます。上水道については、管理をしている東京都と災害時における給水体制の確保について、連携および協力体制を強化します。親水空間の維持、保全の他、水循環機能および生物多様性など生態系の保全に配慮した河川づくりに努めます。また、流域自治体と連携して、計画的な河川の改修、流出対策の実施、河川水質の調査および監視体制の強化を進めます。



1月号からお知らせしています「第4次長期総合計画」の概要です。

最終回の今回は、第5章、第6章の各施策分野における「まちづくりの基本方針」についてお伝えします。

問合せ 企画課 ☎ 557—7468

第4次長期総合計画

第6章	第5章	第4章	第3章	第2章	第1章	構想全般
進めるために総合計画を推進する	みずほ快適で美しい	安全安心やさしいみずほ	魅力ある温かいみずほ	輝くみずほ一人ひとりが	健康で元気なみずほ	将来都市像、基本目標等
今月号		3月号		2月号		1月号

第6章 総合計画を推進するために

第1節 連携と協働がささえるまち

○地域協働

町民の意見をまちづくりに反映させるための仕組みを構築します。また、町内会や自治会、NPOや住民活動団体の自主的な社会貢献活動を支援するとともに、町政各分野において、それら多様な主体との協働による柔軟かつ先駆的な町民サービスの提供に努めます。

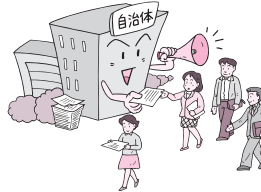
地域協働を進めるためにはボランティア活動の充実が必要です。町民が積極的に活動に参加し、町民同士が支え合う環境づくりに向け、ボランティアセンターみずほと連携し、地域の問題解決を図ることのできる円滑な活動を支援します。

また、女性も男性も互いの個性を尊重し、それぞれの能力を発揮できる地域社会を構築するため、時代の変化に対応した男女共同参画意識を高める活動を展開します。

○広報・広聴

町民と連携、協働するためには、各種情報を共有することが重要です。多様化する町民ニーズに対応し、読みやすい広報紙とホームページの作成、行政情報の積極的な開示と提供に努めます。また、町民が町への意見を気軽に寄せることのできる環境を充実させます。

全ての町民が利便性の良いICT環境を享受することができるよう、情報のバリアフリー化や情報格差の解消、地域情報基盤の整備促進を図ります。



第2節 健全な行財政運営の自立したまち

○行財政運営

町民へ質の高い行政サービスを提供し続けるために、行政改革の推進を強化するとともに、多様化、複雑化する行政課題に対応できる職員の資質の向上と効率的な組織体制の整備に努めます。また、町民の評価に基づく行財政運営を計画的に進める仕組みと、町民の立場に立った行政手続制度の構築に努めます。さらに、町民に信頼されるよう、情報セキュリティの強化を図るとともに、情報システムの最適化と効率化を進めます。

町民に最も身近な基礎自治体として、安定した行政サービスの提供を維持するために、効率的な業務運営による行政コストの削減、確実かつ効果的な自主財源の確保と基金の運用、地方債の抑制を図ります。また、客観的な評価ができる財政指標を分かりやすく示し、町の財政状況を広く公開していきます。

財政基盤の中心である町税の安定的な確保のため、適正かつ的確な課税と収納率の向上に努めます。

○広域連携

多様化、複雑化する行政課題の解決は、複数の自治体が共同で処理することで、効率的かつ効果的な行政サービスを提供することができます。西多摩地域広域行政圏協議会構成市町村と連携し、新しい施策の展開に結び付けていきます。また、一部事務組合による他市町村との連携を堅持するとともに、新たな広域連携の在り方を研究していきます。

特に、公共交通網の整備など瑞穂町だけでは解決できない課題については、近隣自治体と連携し、効果的な活動を推進します。

